

NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。
 7月の勉強会は、歯科口腔外科 小宮正道先生・吉田美昭先生からご講義いただきました。

「周術期口腔機能管理について」

周術期口腔ケアを担うことで、歯科診療報酬の算定ができるようになりました。

がん治療と口腔合併症

一般的な抗がん剤治療の 40%
 骨髄移植など行われる抗がん剤治療の 80%
 頭頸部がんの放射線治療の 100%



口内炎

口腔ケアの効用

- 一口腔感染症の予防(歯周炎、齲蝕、口内炎)
- 口腔機能の改善と維持(摂食、咀嚼、嚥下、発音など)
- 誤嚥性肺炎予防(術後肺炎予防)
- 頭頸部上部消化管手術後合併症予防
- 歯性病巣感染症の予防



周術期口腔機能管理とは

- 平成24年診療報酬改定でチーム医療の柱として周術期の口腔機能の保全で術後合併症の予防などにより早期離床を目指し新設
- 周術期の口腔機能の評価・管理によりがん患者のQOLの向上
- がんなどに関わる全身麻酔手術、または放射線治療(頭頸部がん)もしくは化学療法患者を対象とする

術前口腔機能管理

- 口腔内診査
歯数、う蝕罹患・治療、歯周基本検査、レントゲン、咬合、下顎運動、義歯の適合、口腔粘膜、唾液、
- 歯周基本治療(歯石除去など)
- 保存困難歯の抜歯
- う蝕などに対して暫間的な修復処置
- 義歯の調整
- 口腔衛生指導
- 挿管時損傷受けやすい歯の対策

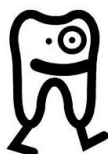
周術期口腔機能管理対象疾患(支持療法としての口腔機能管理)

全麻手術の行われる

消化器がん、呼吸器がん、頭頸部がん、心臓外科手術、脳外科手術、移植手術

がん化学療法、頭頸部放射線治療

詳しくは、口腔外科外来(内線 3237)へお問い合わせください



次回の NST・褥瘡勉強会予定

平成 25 年 9 月 5 日(木)18 時~19 時 第一講堂
 言語聴覚士 萩原典子氏より「摂食機能療法について」です。